

別紙2

配合設計等記入用紙

◎太枠内の全ての枠に記入してください。

◎容積合計が、目標空気量と合わせて1,000Lになることを確認してください。

学校（学科）名							
供試体の愛称（本選）							
使用材料	銘柄および産地	種類	容積 (L/m <sup>3</sup> )	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	供試体作製日	月 日
水						供試体送付日	月 日
セメント							
細骨材						供試体送付までの養生方法	
粗骨材						養生温度	℃
混和材 <small>一般名（材質）も記入する</small>						練り容積	L
混和剤			—			練り混ぜ時間	
その他						練り混ぜ方法	
合計							
配 合			フレッシュコンクリートの試験結果				
水セメント比		%	スランプ又はスランプフロー			cm	
細骨材率		%	空気量			%	
空気量		%	コンクリート温度			℃	
スランプ又はスランプフロー		cm	創意・工夫した点（本選）				
混和材使用率 <small>何に対する使用率が明記する</small>		%					
混和剤使用率 <small>何に対する使用率が明記する</small>		%					
デザインの説明（本選）							
供試体 No.	No. 1	No. 2	No. 3	平均	ばらつき		
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )							
単位容積質量 (kg/m <sup>3</sup> )							
審査委員コメント							